



～2022年の幕開けです！～

いよいよ2022年がスタートしました。新年になり、新たに今年一年間の目標を考えたりしたことでしょう。進路だけでなく、日常生活での目標や高校入学後の学校生活を考えるのもよいでしょう。中学校生活も残り3か月となりました。ぜひ、残り3か月だけの目標ではなく広い視野で2022年の幕開けを実感しましょう。

～私立・国立高校の出願について～

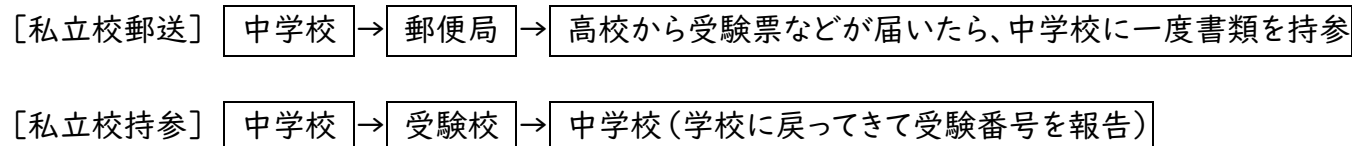
進路通信 No.6-2 でも記載しました。改めて書類の準備を正確に準備し、間違いや漏れのないようにしましょう。また、受験制度や受験に関する日程も学校によってそれぞれ異なっていますので、しっかりと確認しておきましょう。

□出願時の心得

- ✓ 出願当日は標準服になります。登校時に、出願に必要なもの（願書など）を中学校に持ってきます。（返信用封筒は？受験料は？郵送料は？）
- ✓ 朝学活～1校時に担任の先生から“調査書”を受け取ってから出発します。（※持参の場合）
- ✓ 募集要項、筆記用具、生徒手帳も忘れずに。
- ✓ 交通費、小銭、高校までの地図など必要に応じて準備。（※持参の場合）
- ✓ 出願が終わったら中学校に戻ってきて、職員室で3学年の先生に受験票を提示し、受験番号を報告します。（※持参の場合）
- ✓ 郵送による出願の場合は、調査書以外の書類を最終確認。担任の先生から“調査書”を受け取ってその場で封をして出発します。受験票が届いた翌日に受験票を中学校に持参して、担任の先生に提示し、受験番号を報告します。
- ✓ 郵送の場合は、必ず窓口で“簡易書留”で郵送するように！
必着日前日に郵送する場合は“速達”も必要です。
- ✓ 日吉台西中学校近辺の郵便局は、「横浜南日吉」「横浜高田」「横浜下田」
横浜下田郵便局が近隣中学校の利用が少ないためお勧めです。



出願の流れ



※休日出願の場合は担任と相談

～公立高校の出願に向けての準備～

公立高等学校入学者選抜「志願のてびき」をよく読んで、準備しましょう。

□にチェックを入れて、終わったことを確認しながら進めましょう。

□公立高校の願書の下書き→清書して、証明写真を貼り担任の先生に提出。

- ✓ 一度下書きを担任にチェックしてもらいましたか。
- ✓ 願書の裏に“収入済み証明書”を貼りましたか。(誤納付がないよう注意してください。)

振込用紙色	全日制	定時制
神奈川県立高等学校	緑	赤
横浜市立高等学校	青	黒

※裏面に入学願書裏面への『収入済証明書』の貼り付け方見本を記載しています。

(貼り付ける場所を間違えないように注意しましょう。)

- ✓ 住所は住民票通りに書いていますか。
- ✓ 記載漏れはないですか。(共通選抜に○、受検教科に○など)
- ✓ 不必要なところに記載していませんか。
- ✓ 第2希望が出せる学校(商業、農業、工業系の学科がある高校は要注意!)は記入してありますか。
- ✓ 受検科目が3教科(美術科)や選択(神奈川総合・国際文化)などは大丈夫ですか。

※ペン書きで間違えた場合は、修正テープなどは使わず、黒の二本線をひいて正しく書き直します。

(県の指示で、訂正印はらないことになっています)

□面接シート・特色検査と実技検査などの届出用紙の清書を提出。

必要かどうかを“志願の手引き”を読んで確認しましょう。

横浜商業のスポーツマネジメント科、弥栄高校のスポーツ科など(志願のてびき p.34)

1月20日(水)が公立出願書類回収の〆切日となっています。

随時整えないといけない書類を担任に提出しましょう。

志望校を悩みすぎないこと。例年数名の生徒が出願直前まで志望校を悩むケースがあります。どうしても結論がはっきりせず迷う場合は、現時点までに自分が第一志望と考えてきた学校に出願する。これに尽きると思います。説明会で校長先生の話でもありましたが「進路」は志望校選択ではなく、今後の人生を考えることです。自分が望む第一志望校に出願しない時点で先が見据えられていないこととなります。ぜひ先を見据えた進路選択ができるようにしましょう。

～保護者の方へ～

いよいよ、出願時期がやってきました。子ども達も落ち着かない(不安になる)と思いますが、家庭の中では温かく寄り添って手続きなどを進めていただけると幸いです。

受検(験)料の納付期間が始まっています。私立・公立ともに期間内の手続きをよろしく願いいたします。

公立については、「受検料等減免制度について」や「志願のてびき」p.35をよく読んでいただき、受検料等減免制度が適用されるご家庭は、申請をよろしく願いいたします。

寒さがより厳しくなる1月2月です。お身体に気を付けて、この時期を子どもと共に乗り切りましょう。

